

弁城小学校4年生が 福祉体験学習をしました。

平成21年11月2日、弁城小学校4年生が『障がい者について学ぼう!』ということで、障がい者疑似体験をおこないました。疑似体験では、車いすを利用したの身体障がい者体験、アイマスクと白杖を利用したの視覚障がい者体験を実施しました。

児童たちは初めての体験に目を輝かせて一生懸命に疑似体験に取り組んでいました。児童の感想としては、車いす体験では、「一人で坂道を登る時、力があるので大変だった」、「一人で車いすを動かすことが難しかった」「介助をされていて段差を越えることが難しかった」等の意見が出ていました。



← 車いす体験



← 視覚障がい者体験



12月3日には、前回の障がい者疑似体験で児童から寄せられた様々な疑問にお答えするために、福智町身体障害者福祉会会長の山崎菊一さんをゲストティーチャーに招き、山崎さんの様々な体験談や、車いすについて、車いすのスポーツなどの授業をおこないました。

児童たちからは、「車いす生活は怖くないか?」「お風呂はどうやって入るのか?」「車いすを動かしていて手は疲れないか?」など様々な質問が出ました。

ありがとうございました



10月27日(火)、弁城小学校3年生から6年生が学校の米作りで収穫したお米20kgを社会福祉協議会に寄附いただきました。寄附いただいたお米は配食のお弁当に使わせていただきました。ありがとうございました。



相原保さん(神崎)は、趣味の野菜作りで収穫した野菜を、いろんな人に食べてもらいたいと毎月社会福祉協議会や病院に寄附しています。寄附いただきました野菜は配食のお弁当に使わせていただいています。ありがとうございます